

令和 7 年塩尻市議会 6 月定例会 市長総括説明

開会にあたりまして、ごあいさつ申し上げます。

令和 7 年塩尻市議会 6 月定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方におかれましては、何かとご多用のところをご参集賜り、お礼申し上げます。

最初に、初夏の観光イベントについて申し上げます。

ゴールデンウィーク中の市内への観光客の入り込みは、奈良井宿、高ボッチ高原をはじめ、リニューアルした小坂田公園など、主要な市内観光地において、市内外から多くの方々にお越しいただき、昨年を上回る賑わいとなりました。

また、去る 4 月 26 日から本格的に営業を再開しました、信州塩尻農業公園「チロルの森」では、数多くのイベントを開催した効果もあり、来園者は延べ 1 万 2 0 0 0 人余に上り、再開を待ちわびた皆様で大いに賑わいました。

本年度 19 回目を数えます「塩尻ワイナリーフェスタ 2025」は、5 月 17 日に平出遺跡公園を主会場に開催し、あいにくの空模様にも関わらず、全国各地から 2 2 4 0 人の方にご来場いただきました。

6 年ぶりに復活した「ワイナリーめぐり」も、5 箇所ワイナリー

のご協力のもと、それぞれ趣向を凝らした催しを実施いただき、参加された皆様は非常に満足され、喜びの声が数多く寄せられております。

今週末の6月7日、8日の両日は、「第56回木曾漆器祭・奈良井宿場祭」を開催いたします。恒例の「木曾漆器・大漆器市」や、「お茶壺道中」をはじめ、地域を挙げて数多くの催しをご用意しておりますので、市内外から多くの皆様のお出かけをお待ちしております。

次に、いくつかの懸案事項等につきまして、その進捗状況をご報告いたします。

レザンホール改修事業につきましては、現在、設計・施工一括発注に向けて準備を進めているところであり、明日、6月3日に事業者募集を公告し、募集要領を公開した上で、事業者からの質問や提案書の受付等を行ってまいります。

その後、8月下旬に実施する公募型プロポーザル審査において優先交渉権者を選定し、市議会9月定例会に契約締結の議案をご提案する予定でございます。

なお、広報塩尻5月号などで市民の皆様に周知しましたとおり、この改修事業を進めるため、令和8年6月から令和9年7月までの期間、レザンホールを休館予定とし、昨日6月1日からは施設予約を一

時停止しております。

市民の皆様には、ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

次に、国勢調査の実施につきまして申し上げます。

本年は、10月1日を基準日として、5年に一度の国勢調査が実施されます。本格的な人口減少社会の中、地域の人口動態を推し測る上で大変重要な調査となります。

本市では、去る4月24日に「国勢調査塩尻市実施本部」を設置し、現在、9月以降本格化する調査の準備を進めております。第六次塩尻市総合計画の最上位の成果指標として「市民幸福度」とともに掲げた「総人口」の将来を展望するとともに、必要な施策を構想するため、市民の皆さまのご協力を得ながら、的確な人口把握に努めてまいります。

それでは、以下、主要事業について、第六次塩尻市総合計画の基本戦略に沿って項目ごとに概略を申し上げます。

はじめに、「基本戦略A 未来共育」について申し上げます。

「パートナーシップ・子育て」につきましては、本年4月1日現在の市内の公立・私立保育園等への3歳未満児の入園状況は、0歳児が40人、1歳児が192人、2歳児が274人であり、合計506人

が入園しております。

昨年同時期と比較しまして、0歳児で6人、1歳児で22人、2歳児で27人が増加しており、第2子以降の児童の割合も増加していることから、その要因の一つが、昨年度から実施しております第2子以降の保育料の無償化であるものと推察しております。

本年度は、塩尻市こども計画でもある「しおじりこどもまんなかプラン」がスタートする重要な年となり、小・中・高校生が考案しました基本理念「自分らしく輝ける みんな安心 こどもまんなか GSC（グレート・シオジリ・チルドレン）」のもと、こども・若者に関する施策を総合的に推進してまいります。

こどもの権利や意見を尊重し、こどもが健やかに育つ環境の整備を進め、子育てに希望や喜びを持てる地域を目指して、諸施策を着実に推進するとともに、本計画を多くの市民の皆様にご覧いただき、地域社会が一体となって、「こどもまんなか社会」の実現に向けて歩みを進めるため、すべてのこども・若者を本気で応援してまいります。

「学校教育・学びの環境」につきましては、タブレット端末を活用した効果的な教育実践を創出・モデル化し、地域や小・中・高等学校の枠を超えて全国展開するため、文部科学省は「リーディングDXスクール事業」を進めております。

本年度事業として全国約200校が指定され、本市からは、「授業の振り返り」と「次の授業で学びたいこと」をタブレット端末に入力し、「主体的な学び」や「自ら問いを立てる力」を育む取組みが評価され、塩尻西部中学校、宗賀小学校及び洗馬小学校の3校が選定されました。

今回の選定結果を受け、ICTを活用した児童・生徒主体の授業づくりを推進することにより、子どもたちがワクワクする「個別最適な学び」や「協働的な学び」の塩尻モデルの創設に繋げてまいります。

「伝統・文化芸術・スポーツ・生涯学習」につきましては、令和10年に長野県で開催されます「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」に向け、準備に万全を期すべく、新たな組織として、本年度から交流文化部に国民スポーツ大会推進室を設置しました。

現在、8月に予定しております市実行委員会の設立に向けて計画的に準備を進めているところであります。

また、本年10月に滋賀県で開催されます「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」への現地視察を実施し、本市での開催に向けた課題や対応策等の検討を行うとともに、本市の実行委員会や競技団体等と協議を進め、全国各地からお迎えする選手団、応援団の皆様が

競技に集中できる最適な環境を整えてまいります。

次に、「基本戦略B 共創循環」につきまして申し上げます。

「地域経済・産業・観光・就労」につきましては、中心市街地の活性化について、住民、商店、事業者など立場の異なる多様な主体がそれぞれの「やりたいこと」、「やれること」を具現化するために設置した「大門まちづくり共創会議」を4月と5月に開催し、協議を進めております。

また、中心市街地活性化の一環として、去る5月18日には、大門商店街において「居心地がよく歩きたくなるまちなか」を目指した社会実験「えんぱーくピクニック」を開催いたしました。道路空間を歩行者天国にし、青空図書館やオープンカフェを催したところ、家族連れや子どもたちなど、約1500人に上る、多くの皆様にお越しいただきました。

今後は、このイベントを月1回程度開催し、大門商店街へのニーズを探求するとともに、「大門まちづくり共創会議」を中心に、引き続き関係機関等と連携・協働し、中心市街地のまちづくりを進めてまいります。

物価高騰や賃上げなどにより経営が厳しい事業者の経済活動の縮小を緩和し、地域における消費を喚起・下支えするため、市内の事業

者間で利用可能な取引券事業の実施について、本年2月に塩尻商工会議所から緊急要望をいただきました。

本市といたしましても、地域経済を支える事業者の皆様の実情を重く受け止め、要望の趣旨や目的について真摯に検討を行ってまいりました。その結果、過去の実績を踏まえ、事業者間の連携強化や商取引の活性化を図るうえで、取引券事業は一定の効果が期待できると判断し、関連経費について本定例会に補正予算として提案いたしました。

「環境・気候」につきましては、4月30日の降霜により、郷原地区においてアスパラガス50アールの被害が発生しました。

また、異常気象による野菜の収穫量が減少したことに伴い、輸入された葉菜類が市場に残っていることに加え、他産地との供給時期が重なったことから、価格安を回避するため出荷調整による廃棄など、苦渋の選択を強いられております。

今夏も高温が予想されることから、作物の生育や病虫害の被害を注視してまいります。

松くい虫被害につきましては、令和6年度の被害覚知本数は1899本となり、対前年比で約1.7倍、処理本数は1212本で、対前年比で約1.5倍となっております。本年度も、マツノマダラカミ

キリが羽化（うか）し始める6月中旬頃までを「集中駆除期間」と位置付け、被害の最先端地域やライフラインに支障を来たす恐れのある箇所を中心に早期駆除するほか、アカマツ林の樹種転換を戦略的に推進し、被害拡大防止と適正な森林保全を図ってまいります。

2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティの実現」と、経済成長・産業競争力強化を共に実現していく「GX（グリーン・トランスフォーメーション）」を推進するため、市有林の適正な管理によるCO₂吸収量と市内事業者のCO₂排出量とをオフセットすることを旨とする「市有林を活用したJ-クレジット創出事業」を新たに推進してまいります。

J-クレジットの地域内循環により、市内企業の価値向上と脱炭素の推進を図るとともに、ゼロカーボンに向けた本市の新たな取組みを市内外に広くPRしてまいります。

信州F・POWERプロジェクトにつきましては、製材の新規受注やD材の受入れにより、製材事業、発電事業ともに、2025年度予算は黒字の見通しとなる一方、燃料材の増加に伴い、材の置場不足やストックヤードの雨水対策など新たな課題も生じているとお聞きしております。今後も引き続き、県など関係機関と連携を密にし、市としましても諸課題の解決に向けた取組みを進めてまいります。

気候変動の影響に伴う猛暑の到来に備え、「熱中症特別警戒アラート」が発令された際に、暑さをしのげる場所として一般に開放する「指定暑熱避難施設」、いわゆる「クーリングシェルター」として、令和6年5月に「えんぱーく」「えんてらす」の2か所の指定を行いました。その後も、公共施設6か所、市内の「とをしや薬局」4か所の指定を行い、本年度は、民間施設を含め、受入れ体制を12施設に強化し、熱中症による健康被害の発生の防止に努めてまいります。

「協働参画・連携・行政運営」につきましては、市民交流センターは、平成22年7月の開館以来、市民の皆様に支えられて、地域における交流拠点としての役割を担い、本年7月29日に開館15周年の節目を迎えます。

この節目を記念し、継続開催している事業を含め、様々なイベントを「15周年」という冠事業に位置付け、入居企業や団体との連携により事業内容をブラッシュアップし、市民の皆様に更に楽しんでいただけるよう準備を進めております。

移住・定住の取組みとして、この度、本市を知っていただき、興味・関心を持っていただく手段として、移住動画「ウェルカム塩尻」を作成し、本年3月25日に公開をいたしました。

移住動画の内容は、本市のブランド資産をラップ調の音楽に乗せ

て表現し、パリオリンピック金メダリストであり、本市の名誉市民である「出口クリスタ」さんにも出演いただきました。

インパクトが強く、本市の強み・魅力を存分に発信する仕上がりで、再生回数もすでに1万1千回を超え、非常に好評を得ておりますので、今後もあらゆる場面において、この動画を有効活用してまいります。

次に、「基本戦略C 安心共生」につきまして申し上げます。

「地域社会・支え合い」につきましては、「誰一人取り残さない」すべての世代に寄り添い対応する「全世代対応型支援体制整備事業」を、本年度から本格実施し、地域の様々な課題解決に向け、官民連携の体制強化を進めております。

事業の推進につきましては、庁内及び関係機関との協働組織として「つながり応援ネットワーク会議」を本年4月に設置するなど、連携・協働する体制を構築する中で、福祉・介護・保健医療・住まい・教育・就労など、複雑化・複合化する課題の解決に繋げてまいります。

次に、民生児童委員につきましては、本年 12月の一斉改選に向けた新たな取組みとして、民生児童委員の活動について広報塩尻5月号では、特集記事を掲載したほか、今回初めての試みとして、民生児童委員の見守り活動を高校生が体験した様子をユーチューブで紹介

介したほか、テレビ広報や回覧チラシを作成するなど、民生児童委員の活動を様々な手法で周知しております。

さらに、現在、区長の皆さんを中心に、民生児童委員の推薦をお願いしておりますが、今年度から新たに地域共生推進課に設置しました「民生児童委員推薦窓口」で相談をお受けしながら、関係する地域の皆様の負担軽減に努めてまいります。

「医療・介護・保健・福祉」につきましては、带状疱疹ワクチン接種につきましては、本年度から予防接種法に位置づけられたことに伴い、「定期接種」として実施しております。

本年度の接種対象者は、「65歳以上の5歳刻みの高齢者」及び「60歳以上65歳未満で、特定の疾患を有する者」であり、接種対象者には3月末までに接種券を発送し、積極的な接種を推進しております。

また、定期接種に加え、50歳以上の方を対象とする任意接種の助成も継続し、予防接種の機会を維持し、市民の健康増進を図ってまいります。

「まちづくり・インフラ・防災」につきましては、塩尻型MaaS構築事業につきましては、自動運転サービスの社会実装を目指し、国土交通省「自動運転社会実装推進事業」への申請を5月に行ったところ

であります。採択された場合は、関連経費について速やかに補正予算としてご提案することとしており、地域公共交通の一翼を担うレベル4自動運転の実現に向けて、運行ルートの拡大や事業体制の確立を図る予定であります。

「雇用促進住宅みどりが丘住宅」につきましては、平成30年策定の「塩尻市公営住宅等長寿命化計画」において用途廃止を決定し、手続きを進めてまいりました。その結果、入居者すべての皆様にご理解をいただき、本年2月末までに全世帯にご退去いただけたことから、本定例会に雇用促進住宅に係る条例の廃止について、ご提案申し上げたところであります。

用途廃止後の施設の利活用につきましては、引き続き、地域の皆様をはじめ、サウンディング型市場調査に参加いただいた企業の皆様のご意見等を踏まえ、プロポーザル審査の実施に向けて、計画的に手続きを進めてまいります。

一般国道19号塩尻拡幅事業につきましては、市内の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的に、令和4年度から、高出交差点から金塚交差点までの延長3.3キロの4車線化の拡幅について、国土交通省長野国道事務所において事業を進めております。

本年度は、令和6年度に引き続き、金塚交差点付近の用地取得を進

めるほか、現在進めている道路設計が完了次第、地元説明会を開催し、高出工区の用地幅杭（ようちはばくい）設置を進めて行く予定であると伺っております。

本市としましても、円滑な事業推進に向け、国と連携を図り、地元調整などを積極的に支援してまいります。

小坂田公園再整備事業につきましては、令和2年度から令和6年度までの間、総事業費約15億5千万円を投入し計画的に進めてまいりました。本年4月1日には公園西側に整備しました、スリー・エックス・スリー（3×3）バスケットコートや、バーベキュー広場がオープンしたことで、予定していたすべての公共施設の再整備を完了したところであります。

また、懸案となっておりました民間の物販施設については、本年7月中のオープンを目指し、株式会社ローソンが順調に工事を進めているとお聞きしております。子どもたちの夏休みを含め、夏の観光シーズン中の利用の増加を見込み、公園の更なる魅力アップに繋がるものと期待しております。

次に、上下水道事業につきまして申し上げます。

上水道事業では、災害や事故に強い水道施設を目指して令和5年度から実施しております上西条浄水場再構築事業の進捗につきまし

て、第1期工事の最終年に当たる本年度末には、管理棟の建築、中央監視システムの移転などが完了する見込みであります。

また、水道施設の適切な維持管理につきましては、県の「水の恵みを未来へつなぐ交付金」の内示を受けたことに伴い、漏水調査の効率化や負担軽減を図るため、人工衛星を用いた漏水調査事業に要する関連経費について、本定例会に補正予算としてご提案いたしました。

下水道事業につきましては、本年1月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を踏まえた国の「大規模下水道管路 特別重点調査等事業」に基づき、調査対象である平成6年度以前に設置された口径2メートル以上の雨水管、約2.5キロメートルの管路調査を実施するなど、下水道施設の適切な維持管理に努めてまいります。

令和6年度の水道事業会計及び下水道事業会計の決算状況につきましては、給水人口等は減少傾向にあるものの、例年並みの料金収入が見込まれるほか、施設の適切な維持管理及び経費節減に努めたことにより、両事業ともに黒字決算となる見込みであります。

次に、令和6年度一般会計の決算見込みにつきまして申し上げます。

令和6年度は「地域の未来への投資戦略」と位置付けた第六次塩尻市総合計画の初年度となる重要な年でありました。長期戦略に掲げ

た「目指す都市像」と「未来のありたい姿の実現」に向けた着実な第一歩を踏み出すべく、第1期中期戦略に掲げた施策の円滑な推進に努めるとともに、物価高騰への対応など、社会経済状況の諸課題に経営資源を効果的に配分し、着実かつスピード感をもって事業を展開してまいりました。

また、財源確保の面では、個人市民税をはじめとする税収の堅調な推移に加え、国の補助金の効果的な活用や、ふるさと寄附金の収入が大幅な増額となったほか、有利な起債の活用を図りました。

特に、ふるさと寄附金につきましては、寄附額は対前年比52%増の7億9000万円余、寄附件数は対前年比142%増の約1万6700件で、寄附額、寄附件数ともに過去最高の結果となるなど、あらゆる財源確保に努めたことにより、令和6年度決算の実質収支は、黒字となる見込みであります。

以上申し上げまして総括説明といたしますが、本定例会にご提案申し上げました各議案の説明につきましては副市長から申し上げますので、何とぞよろしくご審議くださいますよう、お願い申し上げます。

私からは、以上でございます。